

科目名	演劇概論Ⅱ					年度	2025
英語科目名	Dramatic Outline Ⅱ					学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 1年次	必/選	選	時間数	15	単位数	1
担当教員	環 みほ		教員の実務経験	8年	実務経験の職種	俳優	
【科目の目的】							
声優・俳優問わず、役者になるための演劇スキルを学ぶ。							
【科目の概要】							
声優、俳優を目指すうえで基本となる技術・知識の習得を目指す							
【到達目標】							
イントネーション、アクセントといった発声に関わる基礎と言葉の意味を理解する言葉、日本語文法の習得。							
【授業の注意点】							
遅刻・欠席厳禁。居眠り厳重注意。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。							
評価基準＝ルーブリック							
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力	
到達目標 A	相手の目を見て挨拶 することができる		挨拶することができる			挨拶することが全く できない	
到達目標 B	聞き手が共感する内 容で自分の考えを発 言できる		自分の考えを発言す ることができる			自分の考えを発言す ることができない	
到達目標 C	遅刻・欠席をしない		遅刻・欠席が少ない			遅刻・欠席が多い	
到達目標 D	原稿の意味をしっか りと理解して発声す ることができる		しっかりと発声でき る			声が小さい	
到達目標 E	はっきりと正確に原 稿を読むことができ る		自分のクセを理解 し、反復練習を行う ことができる			苦手な音が多い	
【教科書】							
毎回授業にて資料配布を行う							
【参考資料】							
「外郎売の科白」							
【成績の評価方法・評価基準】							
試験	80%	筆記試験により評価					
成果発表	10%	ノート提出、授業内発表により評価					
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する					
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							

科目名		演劇概論Ⅱ			年度	2025
英語表記		Dramatic Outline II			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	授業内容確認	イントロダクション	授業に臨むにあたっての心構え		
			学習目的の理解	授業理解		
			達成目標	授業概念の理解		
2	実況	プロスポーツの種類と表現①	競技理解	競技の醍醐味理解		
			種類	プロスポーツの種類を学ぶ		
			表現	表現方法を習得		
3	実況	プロスポーツの種類と表現②	競技理解	競技の醍醐味理解		
			種類	プロスポーツの種類を学ぶ		
			表現	表現方法を習得		
4	実況	プロスポーツの種類と表現③	競技理解	公営競技の醍醐味理解		
			種類	プロスポーツの種類を学ぶ		
			表現	表現方法を習得		
5	実況	プロスポーツの種類と表現④	競技理解	格闘技、陸上競技の醍醐味理解		
			種類	プロスポーツの種類を学ぶ		
			表現	表現方法を習得		
6	レポーター	職業としてのレポーター	レポーター理解	レポーターの役割と職業理解		
			表現	表現方法を習得		
			状況伝達力	伝える力を養う		
7	ラジオ	ラジオ情報バラエティ①	番組理解	番組の意図を理解する		
			企画理解	企画意図を理解する		
			表現	番組意図、企画意図を理解してパフォーマンス		
8	ラジオ	ラジオ情報バラエティ②	台本作成	台本制作から番組を理解		
			企画意図の反映	企画意図を理解し台本に反映		
			台本における表現	表現を文字化		
9	ラジオ	ラジオ情報バラエティ③	番組収録	テスト収録		
			台本理解	台本を理解し収録		
			表現	番組意図、企画意図を理解してパフォーマンス		
10	ラジオ	ラジオ情報バラエティ④	番組収録	本収録		
			台本理解	台本を理解し収録		
			表現	番組意図、企画意図を理解してパフォーマンス		
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等